**審査結果と各グループの講評**

**◎中学生の部**

**○最優秀賞（ルソン助左衛門賞）**

**雲雀丘学園中学校3年「もってぃー」**

**テーマ＝堺と漢方**

　パワーポイントの作り方が綺麗でかつ簡潔で分かりやすかった点、口頭での発表内容でパワーポイントの補足説明を丹念にしていた点が素晴らしかったです。フィードワークの成果をうまく取り入れていましたね。また、日本の中近世の時代における寺院の役割に着目した点も良かったのではないでしょうか。

**○優秀賞**

**関西大学中等部フィールドワーク部歴史班**

**テーマ＝民間航空のパイオニア「井上長一」～堺で活躍した征空野武士～**

　堺の地で水上飛行機による民間航空会社を設立した井上長一を取り上げ、現地フィールドワークや文献史料、写真も丹念に調査研究したうえで、取捨選択して発表した点は、とても素晴らしく、高校生レベルでした。井上長一を取り巻く明治から昭和までの日本や世界の歴史的背景をもう少し反映できたら、本当に僅差でしたので最優秀賞だったでしょう。

○奨励賞

**帝塚山学院中学校歴史研究部「線香調査隊☆」　　テーマ＝線香と堺**

堺で線香づくりが盛んになった歴史的背景について、東南アジア・日明貿易や「泉南仏国」など寺院の役割を的確に把握していた点、近現代の線香産業にも触れていた点が良かったです。現在の堺の線香は、高品質化、香りの多様化の方向に向かっているので、新型コロナウイルスの影響がなければ、伝統の体験学習で発表がより深められたでしょうね。

○奨励賞

**雲雀丘学園中学校1年「たこ焼きもぐもぐ」　　テーマ＝月見祭って知ってる？**

　堺の百舌鳥八幡宮「月見祭」における「ふとん太鼓」の魅力を外国人観光客にも発信する方法について、詳しく考察してくれましたね。実現には担ぎ手の保存会の運営や組織の歴史的推移、現状把握も必要で、外国からの観光客よりも、外国からきて堺で暮らす留学生や技能実習生などにも注目するという視点もあれば、より良かったかと思います。

○奨励賞

**雲雀丘学園中学校2年「雲雀坂６８」　テーマ＝茶懐石の精神～和食を国内外に！～**

　ユネスコ無形文化遺産となった「和食」について、学内での外国人の先生方へのインタビューやアンケート調査、多彩な統計資料の活用など多角的な考察をしていこうと挑戦した姿勢がとても良かったです。茶懐石と和食と、どちらに焦点を絞って訴えていくかが少しちぐはぐになっていた点、茶懐石マナーの国際的な比較が少し浅い点が残念でしたね。

**◎高校生の部**

**○最優秀賞（フランシスコ・ザビエル賞）**

**帝塚山学院高等学校歴史研究部「ポイに掬/救われたい金魚姉妹」　　テーマ＝金魚**

このグループは、ZOOM発表の可能性を教えてくれました。とても遊び心があり魅力的でしたね。もちろん、発表自体が素晴らしかった。知る人ぞ知る日本の金魚伝来の地・堺と金魚養殖の本場・大和郡山の両方を歴史的に考察した点、中国と日本の金魚に対する感覚の違いへの言及、金魚の養殖の中で生まれた「金魚掬い」がアジアに広がっていく様子など、多様な視点をまとめたのも良かったです。後輩にも、この手法を伝えていってほしいです。

**○優秀賞**

**金蘭千里高等学校 Ｈ.Ｒ.Ｃ「Ｔｅａｍ　ｔｒａｍ」**

**テーマ＝堺の過去の公害とＳＤＧ‘ｓ**

　　堺市の負の歴史的事実である公害の現代史を的確にとらえるだけでなく、そこから現在のSDG’sにつなげていく視点は素晴らしいものでした。統計資料や文献史料なども上手に活用していました。国際的な比較を複数取り入れたのも良かった点です。SDG’sの17のゴールが少し小さくて見えにくかった点、国際比較の検証の点、光化学オキシダント濃度解消への提言が少し粗かった点は惜しかったですね。

○奨励賞

**関西大学高等部フィールドワーク部大阪産業探求班**

**テーマ＝第五回内国勧業博覧会～近代大阪産業と博覧会～**

研究発表は、この部のグループらしく、丹念に分かりやすいまとめ方ができていました。外国の博覧会との比較やつながりに関する考察も的確でした。上位2グループとは僅差でしたので、近代産業が東京よりも大阪で発展した理由、第五回内国博覧会の内容について、歴史的な背景を、国内外の情勢やアジアとの関係でもう少し掘り下げていけば、より上位にいく要素のある内容だったと感じました。

○奨励賞

**帝塚山学院高等学校歴史研究部「堺昆布探検隊💛」　　テーマ＝昆布**

古代からの東アジアも視野に入れた昆布の歴史に始まり、昆布生産地から離れた大坂や琉球王国で昆布が愛された交易「昆布ロード」に着目して考察していく視点も良かったです。堺の昆布と打ち刃物の関係性にも触れた点は、部伝統のフィールドワークが活きていますね。琉球王国での昆布の位置づけにもふれておくと、より幅広い発表になったでしょう。

○奨励賞

**雲雀丘学園高等学校1年「トリポリキレナイカ」**

**テーマ＝今回くらべてみました～仁徳天皇陵古墳とピラミッド～**

　ユネスコ世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」の仁徳天皇陵古墳とピラミッドを単に比べるだけでなく、エジプトの方にインタビューして、日本とエジプトの教育の側面からも両者の存在を比較するという斬新な視点が良かったです。さらに実際に英語発信の動画を創った取り組みにも感心しました。両者の歴史的宗教的な比較が深まれば、より立体的な発表になりましたね。

○奨励賞

**雲雀丘学園高等学校2年「バナナはおやつですか？」**

**テーマ＝堺のお土産お菓子**

　　お菓子をテーマにしただけあって、発表資料のビジュアルが綺麗で多彩で、見ている人たちをひきつける要素が多かったですね。フィールドワークやアンケート調査では、インタビューや統計資料、写真をこまめに集めている点にも感心しました。歴史的な考察、世界的な比較やつながりが薄かったのがとても惜しいと感じました。

○奨励賞

**大阪緑涼高等学校　　テーマ＝戦いの歴史　刀から銃への変遷**

　　日本と西洋を比較しながら考察した点が良かったです。日本の中世の戦いの中で、「足軽」の役割に注目したのも良い視点でしたね。ただ、日本に火縄銃が伝わったことにより、どのように戦い方が変化したかの探求については、戦場だけでなく経済面など様々な側面があって変化する点への探求が弱かったと感じました。そのあたりを深めていってほしいです。

**◎特別賞（堺ユネスコ協会賞）**

**大阪府立高津高等学校地歴研究部**

**テーマ＝堺の貿易の歴史的意義**

　まず、堺、ベネチア、寧波・マラッカという日本、ヨーロッパ、アジアの交易都市を比較して、それぞれの特性を考察する視点が良かったです。ヨーロッパだけでなくアジアの都市にもスポットをあてて研究する姿勢も、この発表会にふさわしいものでしたね。堺の考察をもう少し深めてほしかったこと、勘合貿易等で少し古い学説をそのまま使っていた点が少し残念でしたが、史料の吟味を深めれば、素晴らしい発表になる視点がたくさんありました。